

指導終了6ヶ月後の状況を治療開始時のTDS点数別にみると、TDS点数が低い方が禁煙継続率が高い傾向となっていた。また、失敗率については、TDS点数が高い方が高い傾向であった。

図表 40 指導終了6ヶ月後の状況（TDS点数別）

	合計	禁煙継続	1週間禁煙	失敗	不明	無回答
合計	614	330 53.7%	33 5.4%	160 26.1%	79 12.9%	12 2.0%
【TDS点数別】						
5点	45	30 66.7%	2 4.4%	7 15.6%	5 11.1%	1 2.2%
6点	69	43 62.3%	2 2.9%	13 18.8%	10 14.5%	1 1.4%
7点	120	66 55.0%	8 6.7%	23 19.2%	19 15.8%	4 3.3%
8点	137	67 48.9%	7 5.1%	41 29.9%	19 13.9%	3 2.2%
9点	143	82 57.3%	8 5.6%	40 28.0%	12 8.4%	1 0.7%
10点	89	36 40.4%	6 6.7%	32 36.0%	13 14.6%	2 2.2%
無回答	11	6 54.5%	-	4 36.4%	1 9.1%	-

また、5回の指導終了時の状況別にみると、指導終了時に4週間禁煙であった人のうち、現在も禁煙を継続している人は約70%となっている。

図表 41 指導終了6ヶ月後の状況（指導終了時の状況別）

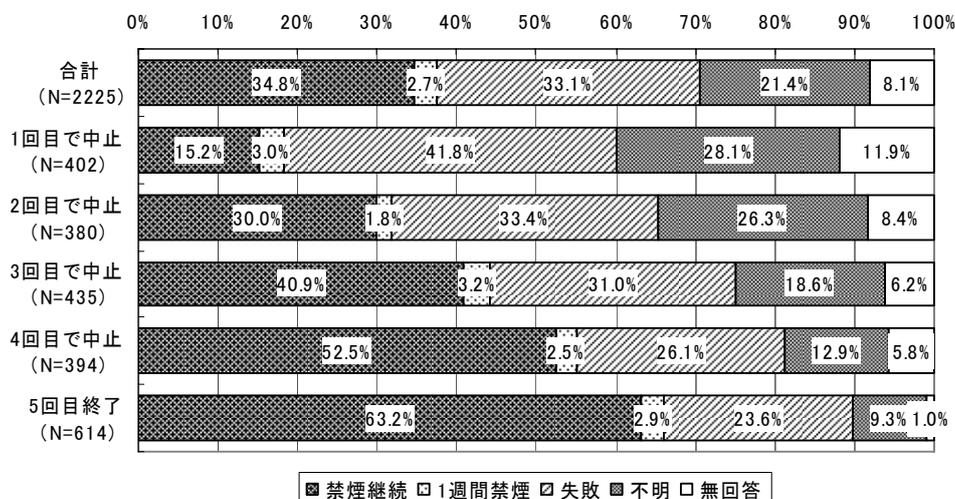
	合計	禁煙継続	1週間禁煙	失敗	不明	無回答
合計	614	330 53.7%	33 5.4%	160 26.1%	79 12.9%	12 2.0%
【指導終了時の状況】						
1週間禁煙	45	9 20.0%	13 28.9%	16 35.6%	7 15.6%	-
4週間禁煙	442	307 69.5%	11 2.5%	63 14.3%	52 11.8%	9 2.0%
失敗	107	3 2.8%	7 6.5%	80 74.8%	16 15.0%	1 0.9%
無回答	20	11 55.0%	2 10.0%	1 5.0%	4 20.0%	2 10.0%

5) 算定回数別の指導終了3ヶ月後および6ヶ月後の状況

二次調査分析対象患者において、ニコチン依存症管理料の算定回数別に、指導終了3ヶ月後の状況と6ヶ月後の状況を比較した。

その結果、全体で3ヶ月後の禁煙継続率は34.8%、6ヶ月後の禁煙継続率は32.7%であった。5回の指導を全て終了した患者の3ヶ月後および6ヶ月後の禁煙継続率は各々63.2%、53.7%であった。算定回数(=治療回数)が多いほど禁煙継続率が高い傾向が認められた。

図表 42 指導終了3ヶ月後の状況(算定回数別)



図表 43 指導終了6ヶ月後の状況(算定回数別)

